

ハドロン物理関係の現状と今後

加藤悠司(名古屋)

現状:

- ・実際に手を動かしているのは平田さん(名古屋 M1)と加藤の2名
 - 平田さんは陽子識別の第一人者と言える存在に成長
 - 加藤は今日発表したようなことを最近始めたところ
 - NPCから新山さんと瀧澤さんが手を挙げている
 - 新山さんはbasf2の解析の練習を始めたところ

今後 :

- ・ 来年度のマンパワー
 - 現状維持はされると思いますが、増えるかどうかは
- ・ Phase IIデータ取得と同時に陽子識別効率を評価
- ・ ハドロン物理の解析必要なソフトウェアツールの開発
 - 必要な変数をntupleに追加
 - γ からconvertした e^+e^- をトラッキングし、 γ 分解能を改善
 - e^+e^- が物質中で制動放射した γ をトラックに追加し、分解能を上げる
 - Missing massをKinematic fitのConstraintに用いる。
 - etc?
- ・ Phase IIデータを用いたそれらソフトウェアの評価
- ・ ボトモニウムの物理を勉強する